

2014年 IAP 日本支部・病理診断学術奨励賞の公募

下記の要領にて 2014年 IAP 日本支部・病理診断学術奨励賞を公募いたします。

記

賞の名称：IAP 日本支部・病理診断学術奨励賞

応募資格：日本の医療機関に勤務する若手（論文掲載時 40 歳未満）の病理医
（IAP 日本支部の会員か否かは問わない）

選考対象：2013年1月から12月の間に雑誌に公表された診断病理分野における優れた英文論文（1編）。但し、留学先での仕事ではなく日本での仕事のみ。筆頭著者を原則とする。

受賞者数：3名以内

賞の内容：賞状と副賞

応募方法

他薦、自薦ともに可とするが、他薦を原則とする。

申請時に必要なもの：1. 応募者の履歴書 2. 推薦書（推薦人がある場合）ないし、応募理由書（推薦人がいない場合）A4用紙2枚以内（書式は問わない） 3. 論文の別刷7部（1部はオリジナル、他はコピー可）

応募の締切：2014年8月31日（当日の消印有効）

宛 先：〒135-8550 東京都江東区有明 3-8-31

（公財）がん研究会がん研究所 病理部気付

IAP 日本支部事務局

「IAP 日本支部・病理診断学術奨励賞」選考委員会 宛

選考方法・発表

IAP 日本支部が指名する「IAP 日本支部・病理診断学術奨励賞」選考委員会（日本病理学会、日本臨床細胞学会からの外部委員も参加）において選考する。なお、受賞者は秋の IAP 日本支部年次総会における表彰式に参加する。また、受賞者を IAP 日本支部の News Bulletin 紙上で公表する。

以上